

## アメリカ人幼児の第 2 言語としての日本語習得に関する 学際的・事例的研究 (II)

田 中 幸 子 ・ 宮 川 充 司\*

An American Infant Acquiring Japanese as a Second Language : A Multidisciplinary Case Study (II)

Sachiko TANAKA and Juji MIYAKAWA

**Abstract :** This article reports the linguistic and social accommodation of a three-year-old American child, whose mother tongue is American English, in a Japanese kindergarten. The data come from the weekly observation and video-tapes of the child's behaviors and utterances in relation to her teacher and classmates.

The present paper reports the second portion of our ongoing research which officially started in April, 1995, from the 13th (Sept. 18th, 1995) to the 22nd (Nov. 27th, 1995) observation. Though the child spent about two months of summer in the United States where she mainly spoke English, we noted how, once put in the kindergarten context, smoothly she readjusted to the routines of the Japanese school. We noted how she code-switched between English and Japanese depending on who she talked to, and that her dependence on the English speaking classmate seemed to be greatly declining during the period.

国際化社会の進展に伴い、日本に居住する外国人家族が増加してきた。こうした社会的背景により、日本の保育園・幼稚園・学校に通園・通学する外国人の子どもたちは、もはや珍しい存在ではなくなってきている。こうした子どもたちの中には母語と日本語を同程度に獲得しているバイリンガルの子どもたち、母語より日本語が優勢な言語となっている子どもたち、あるいは日本語が実質的な母語となっている子どもたちといった多様な言語習得形態の子どもたちがいる。

乳幼児期あるいは小学校低学年くらいまでの低年齢で異文化に移行した子どもたちは、母語や自文化が確定していない分、異文化・異言語環境への適応はより容易と考えられる。

こうした低年齢の外国人の子どもたちの異文化適応と日本語の獲得過程について、筆者たちはいくつかの科学的な研究を試みてきた。発達心理学サイドから、宮川・中西 (1994, 1995)・中西・宮川 (1994) は、日本の保育園に受け入れられた日系ブラジル人幼児の事例について、ビデオ・カメラを用いた継続的・組織的なデータ集収・分析により、バイリンガルの様相を

---

\* The authors express thier sincere gratefulness to Heidi and James Gordon, Ms. Hiromi Furuya, and to Rev. Hans Magnusson for making this research possible.

示しながら、異文化適応と第2言語としての日本語を獲得していった幼児の適応過程の詳細な事例分析を行った。宮川 (1996) は、日本の保育園に受け入れられ、急速な異文化適応と日本語獲得を示した中国人幼児の事例を分析し、急速に異文化適応と第2言語獲得を進めていった幼児の特異な事例を分析している。

また、言語学と発達心理学との学際的アプローチとして、筆者たちは、日本の幼稚園3歳児クラスに入園したアメリカ人女兒について、入園から約1年間、幼稚園の保育場面での継続的・組織的な行動観察プロジェクトを実施した。その行動観察プロジェクトでは、ビデオカメラを用いた毎週1回約1時間半の行動観察を、縦断的な手法により約1年間にわたって実施した。その入園から最初の3か月間の異文化適応と第2言語としての日本語獲得の過程については、田中・宮川 (1997) で、その分析結果を報告した。この女兒の事例は、入園当初から「せんせい」「こんにちわ」といった片言日本語を話したこと、また同じ幼稚園に英語を第1言語あるいは母語とする数名の外国人幼児や国際家族の子どもが在園していたこと等の条件を背景に、相手や状況によって英語を話すといったバイリンガルの特徴を維持発達させながら、日本語獲得や日本人幼児との仲間関係を急速に展開していった。

本論文では、その後の3か月間に関して（入園5か月後から7か月後まで）、第2言語としての日本語の獲得過程を、日本の幼稚園での適応過程とのかかわりから、行動観察データを中心に詳細な分析をしようとするものである。

## 方 法

### 研究対象児

本研究が主対象とした幼児、マリー（仮名）は、日本生まれで、アメリカ合衆国国籍の女兒である。継続的な行動観察を開始した1995年4月10日時点では、年齢満3歳0か月の第1子で、下に当時生後8か月の妹がいた。同年7月上旬から9月上旬までの約2か月間、両親や妹とともに、アメリカに一時帰国していた。再来日後の同年9月11日（月）から、再登園を始めていた。

なお、父親・母親ともアメリカ合衆国国籍で、家庭の言語環境はアメリカ英語。父親は、日本の大学で英語の教鞭をとっている。母親も、大学で英語の非常勤講師として働いており、筆者たちと面識があったため、対象児の幼稚園入園直前に研究対象児としての同意を得た。また、マリーが入園予定の幼稚園にも、研究プロジェクトを開始する前に、事前交渉をし、研究協力への同意を得ておいた。

### 研究主対象児の通園する幼稚園の沿革

本研究の中核的なデータとなる対象児の行動観察を実施する場所は、対象児が通園する、愛知県日進市にあるプロテスタント系の3年保育の私立幼稚園。園児数は、対象児が入園した当初園児数3～5歳児クラス合計153人（1995年5月1日付資料による）。5歳児クラス合計50名、4歳児クラス合計63名、3歳児クラス合計40名で、各年齢とも2クラス編成となっている。この幼稚園では、数年前から外国人幼児や帰国子女、（国際結婚によって形成された）国際家族の子どもを受け入れた体験をもっていた。なお、同年10月1日時点で

の在園児数は、合計147名、5歳児クラス合計50名、4歳児クラス合計58名、3歳児クラス合計39名となっていた。さらに、10月末日時点では、5歳児クラス合計49名、4歳児クラス合計58名、3歳児クラス合計40名、合計147名となっていた。

研究の主対象児マーリーが通園する3歳児クラス、もも組(仮称)には、合計23名(男児10名、女児13名)の園児が4月当初在園。同年9月18日より女児が1名転出し、本人を含めて合計22名となり、同年10月末日には台湾からの帰国男児1名が転入し合計23名(男児11名、女児12名)となっていた。

クラスメイトの中には、マーリー以外にもスイン(仮名;以下子どもの名前はすべて仮名とする)という外国籍女児(韓国国籍)が同時に入園。また、同じもも組には、国際家族の子どもである、セバスチャンとショウヘイ(いずれも男児)が同時に入園。この2人の国際家族の男児は、マーリーが1歳の頃から参加していたプレイメイト(名古屋市内のマンションの集会所を借りて、外国人や国際家族の子どもたちを対象に、定期的で開催している共同保育)にも、一緒に参加していた。

その他、5歳児クラスには2名の外国人女児(オリアナ:カナダ;キャロライン:アメリカ合衆国)、4歳児クラスには、1名の外国人女児(キャティー:アメリカ合衆国)と2名の国際家族の女児(メイとモエ)が在園していた。

#### データ収集の方法

自然的観察法の手法による対象児の定期的な行動観察を、もっとも基本的なデータ収集方法とした。その他、両親やクラス担任等から対象児に関して報告される情報は、フィールド・ノートのメモとして残し、後に行動分析の参考情報として活用した。

主対象児に対する定期的な行動観察は、入園式(1995年4月7日(金))から登園2日目にあたる1995年4月10日(月)から開始して、約1年間、原則として毎週月曜日9時50分頃～11時30分頃までの午前中の保育の時間帯で行った。ただし、対象児の欠席や幼稚園の行事等の関係で、観察ができなかったこともあった。本論文で取り扱うデータは、入園から約5か月後1995年9月18日(月)～11月27日(月)までの合計10回分の記録である。

観察の方法は、前回の報告と全く同一で、まず第2筆者(心理学者)がポータブル・ビデオカメラ(Panasonic NV-X100:S-VHSC, 3CCD 固体撮像素子, 25倍デジタルズーム仕様)を用いて、主対象児の発話や行動を中心に、逐次的に収録していった。収録に際しては、主対象児の発話内容をできる限り詳細に分析できるよう、行動に直接的な影響を与えないよう注意をしながら、ビデオカメラを接近して収録した。これと同時進行で、第1筆者(言語学者)が、自由記述の観察記録として、主対象児の発話や行動およびその状況等に関して、フィールド・ノートに逐次的に記述していった。

その他、クラスメイト一人一人の顔写真や幼稚園やクラスに関する事項など、後で分析に必要と考えられる情報は、随時収集・保存していった。

#### 結果の分析と考察

対象児の行動観察資料の分析は、前回の報告と全く同一の方法によった。まず、第1筆者

が、フィールド・ノートの記事を参照しながら、第2筆者が収録したビデオによる映像データを何回か反復再生しながら言語記述的な資料に再現変換し、それを第2筆者が修正する。より正確性の高い言語的な記述データベースとしていくために、第1筆者と第2筆者の間で何度かやりとりをして、より正確な言語記述データベースに修正していく。そのデータベースを基盤に、第2筆者が主対象児の行動的・言語的な変化を、分析・考察していくという、学際的アプローチならではの分析手続きを踏んでみた。

こうした修正を加えて、記述の正確性を高めていった行動観察のデータベースの概要を補足資料として示す。ただし、ここで公表する資料では、子どもの人名はすべて仮名に替え、原データにあった実名フルネーム等は意図的に別の仮名に置き換えた。その際、外国人幼児と国際家族の子どもは、カタカナで名前を表記した。それ以外の日本人幼児は、ひらがなの名前で表記した。また、研究のコンテクストから多少はずれる余分な記述は、紙面の制限もあるので、削除した。勿論、それ以外は、作為的な編集作業を、一切加えていない。

## 補足資料 ビデオから再現したマーリーの行動観察記録

第13回観察 1995年9月18日(月) 9:50-11:36 晴れて、良い天気。

夏休みの間マーリーは、米国に一時帰国し、約2か月間英語圏での生活を送ってきた。ちょうど1週間前の9月11日(月)から、再登園している。(クラスメイトのゆりえは、引越して前日転出。この日から、マーリーのクラスメイトは、21名となっている。)

9時50分 今日は移動動物園が訪問しており、子どもたちは動物と触れ合っている。

セバスチャンとショウヘイ、マーリーをバスに迎えに行く。

マーリー、担任に手をつながれて、教室へ向かう。カバンを廊下に置いたまま、動物に関心を示す。ビニール袋に入った野菜の屑を、セバスチャンに見せ、何か英語で話す。

9時54分 担任「マーリー、マーリー、おしらせぶくろ...。」、マーリーは理解して袋を探す。袋を持って動物を眺める。

9時57分 マーリー、教室の外から中を眺める。担任に動物の餌の袋を渡す。

9時58分 まりこ、マーリーの髪の毛のリボンを後から触る。マーリー、右手で押す。2人並んで、中を見る。(子どもたち、音楽に合わせて走り回っている)

9時59分 また、マーリー、動物を見る。

マーリー「せんせい。」と言って、お知らせ袋を渡そうとするが、担任は気づかない。

10時05分 靴を替えて、教室へ。子どもたち、走りながら、マーリーに触れる。マーリー笑う。

10時08分 田中がイスに掛けていると、マーリーが隣にイスを出して掛ける。

マーリー "I just want to stay here. " (皆は音楽に合わせて走り回る。)

まみちも来る。まみちがマーリーを後から触ると、マーリーは、まみちの膝に触れて怒る。

- 10時13分 汽車になって、トンネルごっこで遊ぶ。マーリー、皆と仲良く。  
まさひろ「れんらくちょうに、ねつとのどがいたいとかいてある。」と担任に言う。これを聞いて、マーリーが「おくすり」と担任に言いに行く。(まさひろがいったことを理解している。)
- 10時17分 こうすけ、セバスチャン、マーリーと3人で、手をつないで、回っては倒れる。
- 10時19分 ショウヘイがこうすけを押すと、マーリーがショウヘイを押して泣かす。  
また、3人で手をつないで回っては転ぶ。まさひろともじゃれる。
- 10時23分 セバスチャン、マーリー、年齢について田中に話す。セバスチャン「4歳、誕生日をしたもん。」マーリー、指を3本立てて、「わたし、ちがうの。」と言う。  
マーリー「ねえ、ねえ、きて、きて、みて。シールがない。どうするの。」
- 10時25分 (マーリーの座る場所のシールが、取れている。)担任につけてもらう。  
男女2列に並んで、「メロンパン」の歌。マーリー、まさひろと何か話す。
- 10時30分 マーリー、担任に「せんせい、おしっこない。」  
外へ出て、階段に腰掛け、動物のお話を聞く。
- 10時53分 組ごとに動物の囲いへ行く。ひよこ、犬、うさぎ。
- 11時12分 山羊、羊、ロバ、鶏の囲い。マーリー、怖がって担任の後から、服をつかんでいる。セバスチャンと手をつないで、羊を触る。
- 11時26分 外で、あちらこちら歩き回る。担任について行って、うさぎを抱く。
- 11時30分 一人で、ハムスターをつかみ、まさひろと話す。

第14回観察 1995年9月25日(月)9:45-11:27 蒸し暑い。外で運動会の練習をする。

- 9時45分 バス到着。マーリー「せんせい、セバスチャンは?」担任と手をつないで、教室へ行く。
- 9時52分 マーリー腰を下ろして、靴を替えようとする。マーリー「せんせい、シューズない。」
- 9時54分 マーリー、タオル、鞆を教室でかける。セバスチャンとショウヘイが遊んでいるのを見ている。ひとりで歩き回る。
- 9時57分 マーリー「ねえ、せんせい、ゆりちゃんがくるって。」と担任に尋ねる。担任「きょうはおやすみ」と対応する。  
マーリー、セバスチャンと英語で話す。田中とセバスチャンのTシャツのライオン・キングの話をするが、「ちがうの」とマーリー言う。
- 9時59分 マーリー、担任に「どうしたの。」担任「むしにさされたの。」とジージーと虫が飛んでくるしぐさをする。マーリー「やーだ。」と逃げる。担任の前掛けの後ろのボタンをはめてあげる。担任に誉められてうれしそう。担任と走り回る。  
マーリー「ジージー」と追いかける。ともひろとも遊ぶ。
- 10時00分 マーリー「ねえ、ねえ、ジージーして」と担任に頼む(両手で虫の真似)。
- 10時02分 マーリー、担任のボタンをはめようとするが、ともひろがはずす。マーリー「やーだ。」とにらむ。
- 10時04分 なつみと少し話す。ショウヘイを押す、引っ張る。

- 10 時 06 分 マーリー、セバスチャン、ショウヘイ、ゆうたと走り回る。  
まみちが手をだす。マーリー「いやー」と言って肩を抱く。
- 10 時 07 分 座って、まりこの水筒のストローで、一緒にジュースを飲む。セバスチャンと  
2 人で水筒のジュースをもらう。コップで。
- 10 時 09 分 マーリー、セバスチャン、ショウヘイと走り回る。  
マーリー「せんせい、おそとであそんでいる。」と担任に外を指さす。
- 10 時 10 分 マーリー「せんせい、おそと、いいい。」と担任に尋ねる。  
セバスチャン、麦わら帽子を被って、牛の真似をしてマーリーに向かってくる。
- 10 時 12 分 しかし、マーリー「あーあ。」とものぐさそう。セバスチャンがイスをゴトゴ  
ト動かす。  
マーリー「なにやってんの」と言うが無視される。マーリー、指をくわえる。
- 10 時 15 分 担任「おそとにいきますよ」と呼ぶが、マーリー、イスを出し、どうしてよい  
か感う。
- 10 時 16 分 運動用の赤白帽子を渡され、白を被る。  
「おはよう、りかちゃん。。。きれいですか、このハット。」と、りかこに話しかけ  
る。  
帽子のゴムひもを伸ばし、ショウヘイに「ペーペー」と顔をつくる。  
マーリー、田中に"Come on..."と言って走り出す。マーリー、「ブーブー」声を出  
す。
- 10 時 25 分 2 列に並んで外へ。  
また、セバスチャンとショウヘイと 3 人で手をつないで回っては転ぶ。まさひろ  
ともじゃれる。
- 10 時 50 分 くつを替えて部屋に戻る。りかこがマーリーを両手で抱え、内緒話。部屋で、  
2 列のイスの輪に掛け、ピアノに合わせて歌う。
- 10 時 53 分 後列のなつみを振り返り、手を伸ばし握手。また、「なっちゃん」とマーリー  
から握手をを求める。
- 10 時 55 分 パンツ 1 枚になって、体重・身長測定。まさひろ、マーリー、セバスチャンと  
体に触れてじゃれる。(一人一人測定するので、時間がかかる。)
- 11 時 18 分 マーリー「いーれて」と遊んでいるグループに近づくが、「ダメだよ」と言わ  
れる。  
ひとりで、あちらこちら立って回る。ひとりで、水を飲んでくる。  
こうすけに「どうしたの」と声をかけてから、「まーくん、いーれて」とまみち  
に近づく。
- 11 時 22 分 マーリー、担任に「せんせい、いまね、ねんどで...。」話す。

第 15 回観察 1995 年 10 月 2 日 (月) 9:45-11:24 雨上がり。運動会のための旗づくり。

9 時 48 分 バス到着。マーリー、元気に、笑顔で降りる。素早く歩き、靴を換える。鞆を  
しまう。

9 時 50 分 女の子たち、担任の三つ編みの髪に興味を示し、テーブルの回りに集まっている。

マーリー、シャベルで「ありがとう、チュッ。」とキスの真似をする。

9時54分 担任「おしらせぶくろをだそうね」とマーリーに言うが、マーリー「やーだ」と答える。

9時56分 マーリー、りかこを後ろから抱き抱える。りかこ、マーリーのリボンに触れる。マーリー「りかこちゃん。りかこちゃん。りかこちゃん、どうしてるの。」次のバスが来たので、セバスチャンを迎えに外へいく。

9時58分 セバスチャンを見つけて、手を振る。マーリー、セバスチャンと一緒に教室へ。セバスチャンがおもちゃを持ってくる。

10時01分 教室の入口で、マーリー「せんせい、やってみて。」と担任におもちゃを見せる。セバスチャンと英語ではなす。**"Yea, you haf to."** ("Yes, you have to"の意味か)と、タオルを掛けにいくセバスチャンに言う。マーリー、粘土を箱に入れて片づける。

10時05分 床に腰を下ろして、りかこの水筒から、分けてもらってコップで飲む。

10時07分 りかこ「もっとのむ?」マーリー、うなづく。担任に止められる。

10時42分 部屋に戻る。壁の前にいすを持って掛ける。6つのグループに分かれて、机に座る。

10時44分 マーリー「せんせい、マーリー。せんせい、おしっこ。」といいながら、トイレへ行く。

10時47分 クレヨンで旗づくり。マーリー、裏表とも、紙一杯に、太い線で画く。

10時54分 マーリー「せんせい、これみて。」絵を、担任に渡す。

10時59分 2枚目を渡す。「これ、なあに」と担任に尋ねる。担任「ホッチキス」と言いながら、旗を紐に止めて見せる。

10時03分 マーリー、セバスチャンと2人で、学用品の棚を開き、皆の名前を指して話す。

10時05分 マーリー、部屋の外に出て、遅れてきた隣のクラスの女兒(足にハンディキャップをもった子)に向かって、「おはよう、おはよう。」と元気に声をかける。

10時06分 部屋に戻り、まだ絵を描いているまりこに向かって、マーリー「なにしてる。」と、描いたものを尋ねるが無視される。マーリー、「しかー?」まりこ、ものぐさそうに、「あーあ。」

10時07分 ゆうたと話す。数人の子が外へ出ていくのを見て、まみちが手をだす。マーリー「いやー。」と言ってまみちの肩を抱く。

10時09分 「せんせい、おそといいい。」と担任に尋ねてから、急いで靴を履き替えて外へ。

10時10分 ぶら下がり遊具も滑り台も、雨で濡れている。

10時11分 さくら組のさゆり、はるかた靴をはいたまま、濡れない程度に水たまりに足を入れる。

10時12分 ジングルジムで、セバスチャン、ゆうたと遊ぶ。

10時16分 さゆり、はるかた滑り台。ショウヘイも加わる。

10時18分 ひとりで、水たまりで、どろを手にして遊ぶ。

10時24分 やっと、手を洗いに行く。

第16回観察 1995年10月9日(月) 9:45-11:27 雨上がり。

9時48分 バス到着。マーリー、元気に手を振っている。「おはよう。」

9時54分 「なにしてんの。なにしてんの。」となりの組の子どもたちの遊ぶのを立って見ている。

「ちょっと来て」と田中を引っ張る。くつを替える。タオルを鞆から出す。

9時58分 教室へ入り、タオルを掛け、担任に「これ」とビニール袋を渡す。

9時59分 「ねえ、りかこちゃん。どうしたの。」と机で遊んでいるりかこに話しかけるが、りかこ、無言で立ち去る。

まさひろに「どうしてんの」。まりこに話し、走る。無視される。外を見る。

10時00分 まさひろと話し、後を振り向いて走り、おっかけっこ。「あれっ」廊下へ。

10時01分 「まーくん。まーくん。」と、外を見てまさひろに呼びかける。「まーくん」と呼びながら探す。

10時02分 担任がマーリーに「これ、チューリップのおへやへ、もって行って。」マーリー、プラスチックのおもちゃの入ったボールを、落とさないようにソロソロ運ぶ。「せんせい」と隣の組の担任に渡す。

10時03分 廊下でまさひろ、ともひろと走り回る。

10時04分 りかこを追う。マーリー「まで。」まさひろ、りかこ、マーリーの3人で、建物の東側の非常用滑り台で遊ぶ。マーリー「いーれて。」まさひろとりかこ「いーよ」。3人で大きな声を上げ「わーわー、きゃーきゃー。」まさひろ「ちゅういしろ。までまで。」

10時07分 年長の女児が出てきて、「このすべりだいですべってはだめよ。これは、ねんちょうさんがかじのとき、すべってくるので、ダメよ。」と注意する。3人は暫く静かに遊ぶ。

10時09分 バスが到着。マーリー、だれかを待っている。「きみこせんせい。きみこせんせい。」

また、非常用滑り台に戻る。「いけないだよ。」と別の子に注意される。マーリー、手すりの鉄棒にぶら下がり、3人で遊ぶ。まさひろ「ここはいいけど、いけないんだよね。」

10時12分 マーリー「いーれて。」りかこ「いいよ」。マーリー「きみこせんせい。」と呼びかける。

マーリー、まさひろと身体をくっつけて、後ろ向きに滑る。

10時15分 担任に叱られて、部屋へ向かう。担任「よーい、ドン。」と走らせる。

10時16分 りかこと腰を下ろして靴を履く。赤白帽子を被って並ぶ。あごのゴムが気になる。

10時18分 運動場の西に並ぶ。叱られてむくれているまさひろが並ばないので、気になって盛んに後ろを向く。「まーくん、おいで」と、まみちに呼びかける。

10時24分 イチ、ニ、イチ、ニ。足踏みし、前進。一同に整列し、朝礼。

10時35分 終わって集合場所に戻る。暑い。マーリー、前のまりこと盛んに話す。「うん。だめだよなー。」教室へ入る。



- 10時43分 マーリー、腰を下ろして、歌いながらめぐみと上履きに変える。めぐみに、「...でねえ。」と言って、手をつないで部屋にはいる。
- 10時45分 担任に聞かれて、マーリー「おしっこない。」と答える。  
スイン「ねー、ねー。」マーリーはうなづく。ともひろと話す。ともひろの口の下に指をつけ、話す。マーリー、盛んにうたを歌う(英語・日本語?)。
- 10時49分 担任「スインちゃんは。」と話し掛けると、マーリー、スインの席を指し「これ、これ」と答える。  
歌「...くんは、...くんは、どこでしょ。」「ここです、ここです。ここにいます。」と声を皆と合わせて歌うようになった。
- 10時51分 マーリー、こうへいにいろいろ顔をつくり、あかんべー。  
りかこ、水筒を出してくる。りかこを指して、マーリー「おもちゃ。」(?)。りかこのジュースをコップから飲ませてもらう。りかこ、マーリーの肩をたたき、水筒の掛けてある扉を2人で開けようとするが、担任に止められる。
- 10時57分 担任が、運動会のプログラムの表紙の魚の説明。マーリー、大あくびをする。
- 10時58分 マーリー、担任に「ね、ねえ、みーちゃんは。せんせい、めーちゃん、おやすみ?」  
個人個人好きな色紙を選び、さかなの輪郭に合わせてハナミで切り抜き、のりづけし、クレヨンで絵を描き、シールをはる。
- 11時01分 マーリー、赤い紙を真っ直ぐに切り、4枚にする。隣のともみが妙な顔をしてマーリーの作業を見る。前のスインも気づき、マーリーに「きれないの。」と聞く。マーリー、大きな紙片からのりづけする。
- 11時08分 皆はクレヨンで目をかく。
- 11時14分 作業を終え、手を洗う。クレヨンを取ってきて、別の机で絵を画く。学用品の入った戸棚の前で、きみひとが、盛んにマーリーに絵をみせて話す。
- 11時17分 まりこが、マーリーの作品を見て「マーリー、これおさかなじゃないね」と、ともみと話す。  
まりこ「これ、おさかな」とマーリーに聞く。「おーきな。うん。」と答える。まりこ、担任に「おーきなおさかなだって」と言う。
- 11時19分 いすを運んできて、りかこの向いに座り、絵を画く。りかこがマーリーのクレヨンに手を出す。マーリー「これ、マーリーの。」と止める。
- 11時24分 盛んに絵を画く(3枚)。2人で見せあって「いいね。」まりこも加わる。他のクラスの2人が入ってくると、マーリーはクレヨンをしまっていく。
- 11時25分 まみちが箱を持っている。マーリー「まーくん。まーくん。」と呼んで、追っかける。  
まみちの肩や背中に手を触れる。まみち、きみひと、スイン、マーリーで走り回る。

第17回観察 1995年10月23日(月) 9:45-11:34

9時47分 赤バス到着。マーリー、元気よく部屋に向かう。中をのぞいて誰かを探す?

- 9時49分 「いない、あかバスかなあ。いない、あかバスかなあ。」(マーリー、ひとりごと。)
- 9時50分 「なっちゃん、おやすみね。」と同じバスできたいっぺいに言う。
- 9時51分 やっと、靴を替えはじめる。部屋から出てきたりかこに、「りかこちゃん。りかこちゃん。」と呼び、洋服の絵を指して話しかけるが、無視される。
- 9時55分 部屋から外をみて、廊下へ出て、担任を見つける。西側の道で工事用のトラックがいる。  
担任の手を握って、トラックを見る。
- 9時58分 まさひろ、マーリーにじゃれる。
- 9時59分 「でも、こわいよ。」「みえてるの?」部屋に入る。
- 10時01分 りかこ、マーリー、まりこ、3人で机の回りに立って、クレヨンで絵をかく。  
マーリー「なんだろうね、りかちゃん。」とりかこに話しかける。  
セバスチャンが「おれ、かみのけをきったんだよ。」と入口のところで話しているのを聞いて、マーリー「きれい。きれいじゃん。」また、絵を画く。みさと、マーリー、りかこ、ともみ。
- 10時03分 マーリー、ひとりで絵を書いている。まみちとまさひろが、近づいては去る。
- 10時08分 皆は走り回っているのに、一人で絵を描いている。  
セバスチャンと、少し話すが、セバスチャンは男の子と走り回る。  
マーリー「セバスチャン。セバスチャン。セバスチャン。」と3回呼ぶ。
- 10時09分 廊下に顔を出し、マーリー「どうしたのよ。」
- 10時39分 砂ぼこりになるので、担任が水をまく。一度、中へ。水撒きを見て、マーリー「あぶないよ。」  
担任の手を取り、「ねえ、まーくん、おそといったよ。」と外で遊ぶが、泣いている子どもを見つけて「どうしたの。」近寄ってきたなつみに「いたいね。」と話しかける。
- 10時50分 部屋に戻り、ともひろと2人で走り回る。職員室へ、ついで外へ。
- 10時52分 マーリー「ねえ、ねえ」、ともひろの手をつかむが、行ってしまう。マーリー、写真をじっと見ている。部屋の前の廊下まで、ともひろについていく。  
「せんせい、マーリー。」と担任に呼びかける。  
担任「じゃ、おくつを。」  
マーリー「やだ、やだ、やだもん。」一人で外を見ている。
- 10時57分 担任に、マーリー「ねえ、ちょっとまって。ねえ、ちょっとまって。」  
靴をはきながら、マーリー「まてよ、まてー。まだくつある。まって、まってよ。」
- 10時58分 ボールを蹴る。担任、ともみと。
- 11時02分 ジャングルジムでぶら下がる。マーリー「せんせい、みて。」と、担任に呼びかける。
- 11時04分 まみち「マーリー、バイバイ。」と声を掛けて、ジャングルジムで遊ぶ。  
マーリー「バイバイ。」と答える。
- 11時05分 マーリー、鉄棒にぶら下がり「せんせい、みて。」と担任に。セバスチャンが「ふるやせんせい、こっちへきて。」と呼びにくる。マーリー「やだ、やだ。」と

担任を引っ張る。

- 11時10分 靴を替え、部屋に入り、まみちを追いかけ、後から抱えて、頭を叩く。  
11時13分 マーリー「いーれて。」と、スイン、りかこ、みさとたちのグループに加わる。  
11時21分 なつみ「いーれて。」と加わる。本を読んでいるなつみを、マーリーが振り向く。  
11時33分 机の下で暴れている男の子たちを見て、マーリー「いたいよ。」

第18回観察 1995年10月30日(月) 9:52-11:29 この時期にしては、暑いほど良い天気。

- 9時52分 マーリー、靴を替えている。部屋でカバンを掛ける。りかこと何か話す。ゆっくりタオルを掛ける。  
9時55分 マーリー、ともみとまりこをのぞく。  
10時01分 青バス到着。マーリー、うれしそうに担任と手を繋いで部屋へ。  
10時02分 担任の肩に手を置き、何か話す。みつき「おうじさま。。。」担任「おひめさま。。。」マーリー、「だからやだ。」  
10時03分 なつみと手を繋いで外を歩く。部屋に入る。  
10時04分 マーリー、まみちをつかんで、頭を叩く。靴を履いて外へ、マーリー「まって、まって。」  
外へ行き、整列をしようとするが、担任を迎えに戻る。  
10時28分 担任から、ブランコの乗り方の注意を聞く。マーリー、平行鉄棒、ぶら下がり遊具で遊ぶ。  
10時33分 マーリー「きて。」ぶら下がり遊具にぶら下がりながら、「あそぼう、あそぼうね。」りかこ「マーリー、りか。。。」  
10時34分 マーリー「ねえ、いい、できた?」「いい?」  
りかこ「いいよ。」  
マーリー「すごいね、りかちゃん。」  
りかこ「かわって。」  
マーリー「いいよ。」と鉄棒から降りる。  
マーリー「かわって。」  
りかこ「いいよ。」繰り返し、順番に遊ぶ。  
マーリー「だいじょうぶ。」  
りかこ「だいじょうぶよ。」  
マーリー「みて、りかちゃん。」逆さにぶら下がる。  
りかこ「かわって。」  
マーリー「いいよ。」  
マーリー「かわって。」  
りかこ「だめよ。」  
りかことジャンケンをして決める。りかこ、マーリー、声をそろえて「ぐー、ちょき。」  
りかこ「こっちだ。」  
マーリー「かわって。」

- りかこ「いいよ。」と言ってから、ブランコの方へいく。りかこを追う。
- 10 時 36 分 スイン「マーリー、マーリー。」とぶら下がって呼ぶ。  
マーリー、振り向きながら、「じょうずにやってるね。ね、ちょっと、かして。  
かわって。」  
スイン「いいよ。」  
りかこも加わり、逆さにぶら下がる。マーリー、りかこの髪を触り、「いいでしょ  
う。いいでしょう。」と言う。  
マーリー、スインに「おりてみて。」と言って、スインに替わってぶら下がる。
- 10 時 37 分 スイン「すごいでしょ。」  
マーリー「うん。」  
スイン「マーリー、あっちでしたら。」  
3人でぶら下がる。「じゃ、マーリーにして。」と、りかこに言う。
- 10 時 38 分 マーリー「いたくないもん。」「みて、スインちゃん。」  
スイン「すごいね。」
- 10 時 39 分 丸型ドッチボールを担当が子どもたちとしているところへ行き、「いーれて。」  
つがいになったトンボが水たまりに卵を生もうとしているのを、皆でみる。  
マーリー「シー、シー。」と左腕でともたかを制止する。
- 10 時 46 分 丸型ドッチボールに加わる。まだルールがよく分からない。
- 10 時 50 分 一人離れて、鉄の棒をくるくる回る。
- 10 時 52 分 また、ドッチボールに戻り、担任の手を握って遊ぶ。
- 10 時 56 分 セバスチャンの方へちよつと行き、また戻る。担任に「マーリーは。」
- 10 時 57 分 「せんせい、ぬれちゃった。」とセバスチャンが靴を見せる。マーリーはそちら  
へ行くが、すぐ戻ってくる。  
なつみ、濡れた袖をめくってもらふ。りかこも袖を上げてもらふ。それを見て、  
マーリー「あつい。あつい。あつい。」と言い、袖をたくしあげてもらふ。
- 10 時 59 分 マーリー、ジャングルジムで逆さになり、「ふるやせんせい、みて。」  
ドッチボール遊びを見て「やーだ。」
- 11 時 02 分 ジャングルジムでぶら下がる。マーリー、担任に「せんせい、みて。」  
マーリー「やーだもん。」ジャングルジムの登る。  
マーリー、りかこに「みて、りかこちゃん。」  
りかこ「いーれて。」2人で頂上に登り、  
マーリー、担任に「ふるやせんせい、ヤッホー。せんせい。せんせい。」と呼び  
かける。  
りかこ「セーラームーン。」  
マーリー、「マリも、セーラームーンよ。いっしょね。りかこちゃん、いっしょね。」  
まみちが下で泣いているのを見て、「どうしたの、おかあさん?おかあさん?」と  
話しかける。  
マーリー、りかこに「おかあさんだって。」  
マーリー、まみちに「いっちゃってるの? おいで。こわい?」と言いながら降り

てくる。

11時05分 なつみを見つけて、手を繋いで、トイレの方へ行く。「なっちゃん、おしっこ。」出てきたなつみに「おいで」と2人ではしり、りかこも加わり、幼稚園の西側の道で工事をしている人に話しかける。

11時06分 マーリー、機械を動かしながら作業をしている人に、「なにしてるの、おじさん....」と6回繰り返す。

マーリー「どうして? いっちゃってるの?」

工事の人「うん。」

マーリー「いっちゃってるのだって。」となつみに言う。

11時08分 「おいで。」となつみを誘って走る。担任を見つけて手を取る。

11時09分 『とうりゃんせ』の歌で、鬼になりたいのか、マーリー「やりたい。」

11時20分 りかこと鉄棒へ。マーリー「みて。」

11時22分 『かごめかごめ』の声の方へ。担任はいない。桜組のメイが指導的。

見ているが、仲間に入れない。部屋の中の担任の方へ行き、担任を外に誘う。

マーリー、部屋にいる担任を引っ張り、「おそとだもん。だから...。だから...。」と腕を引っ張る。担任、メイに、マーリーを仲間に入れるように言う。

メイ「いいよ。マーリーが、ふるやせんせいがいないとダメというんだもん。」

マーリー、また靴を履いて外へ。『かごめ』の輪に入る。スイン、まりこの他は桜組の子どもたち。マーリー、鬼になったりして、遊びの種類や友達が広がっていく。

第19回観察 1995年11月6日(月) 9:50-11:29 外は風が冷たい。

9時50分 マーリー、庭にいる担任に向かって「せんせい、おはよう。」部屋に入り、カバンを掛け、お知らせ袋を机の上に置く。

9時55分 マーリー、紙をもって、なつみとみつきに「ねえ、ねえ、ちょっときて。」なつみ、みつきと3人で話す。

9時57分 倒れたテーブルをなつみたちと直す。

9時58分 担任「マーリー、おしらせぶくろでした?」

マーリー「だしてない、だしてないよ。」少しふくれている。担任の後ろからエプロンをめくり「わーい。」袋を探しにいき、「ないよ、だしてないよ。」

9時59分 担任の手を取り、廊下から庭へ。腕にぶら下がる。

10時00分 青バス到着。なつみとみつきと一緒に、廊下の端の手すりにぶら下がりをバスを見る。

セバスチャンを迎え、腕を少し触れ合って挨拶。また、バスの方へ戻り、バスの窓からまみちを見つけ、「まーちゃん、まーちゃん。」と呼びかける。

10時03分 部屋の方へ向かう。前の柵から外を見る。マーリー、担任に「... じゃないよ... せんせい。」

10時04分 「りかちゃーん。」りかこを呼ぶ。

部屋へ入り、セバスチャンと大声で言葉を交わす。

- 10 時 05 分 外へ出ようとするが、靴をくわえたセバスチャンとじゃれる。なつみの方へ。  
外へ出て、となりの部屋の先生に「おはよう。」また、部屋に戻る。
- 10 時 07 分 担任から、おもちゃの入った箱を受取り、片付けをする。「ねえ、ねえ、ちょっとかして。」となつみに。
- 10 時 08 分 カラ箱を隅に戻して行き、まりこ話す。セバスチャンに「ないよねえ。」  
廊下の靴箱の前でみつきに「ねえ、ねえ。きょう、めぐみちゃんおやすみ?」  
靴を履きにきたともみとなつみに、「ちょっと、まってる。」と言うが、2人は先  
に行ってしまう。
- 10 時 37 分 マーリー、ブランコへ。まりこ「かして。」と言うが、マーリーは無視して乗っ  
ている。
- 10 時 40 分 マーリー、りかこに「いーれて。」と話し掛けて、スコップで砂いじりをする。
- 10 時 41 分 スコップを探してきて、砂をすくう。
- 10 時 42 分 「あのね、マリね。」と、りかこ2人で盛んに話す。まさひろ、マーリーのス  
コップを持っていく。隣の砂場でセバスチャンの声「えいごだからわからからな  
い。」を聞き、マーリー、顔を上げて「えいご...。」
- 10 時 44 分 マーリー「あれー、なに。これ、なに。これ?これ、キャンディね。」と、つつ  
み紙で作ったあめを拾う。  
なつみが「なにしてんの。」と近寄ってくる。  
マーリー「セーラームーンだって。じゃ、マリにかして。セーラームーン。」  
小さなコテを見つけ砂をすくう。「ウオー、ウオー。みて、りかちゃん。ウオー、  
ウオー。」とりかこに、話しかける。
- 10 時 45 分 担任、ブランコの側から2人を砂場に移動させる。りかこ2人で砂遊び。  
「いいんだんよ、みてみて。」とりかこに。  
りかこ「セーラームーンだよ。」  
マーリー「すてきなないよ。だって、セーラームーンだもん。」と言ってから、  
黙って砂遊びをしている。
- 10 時 48 分 担任が線を引いているのをみて、「ちょっとまって、マリもやりたい。」と走っ  
ていく。ジャンケンで順番を決める。数人線を引く。
- 10 時 50 分 担任「まだやっていないひと?」  
マーリー「やりたい、やりたーい。」  
また、ジャンケンで決める。マーリーそのルールが分かっていなそう。担任が職  
員室の方へ行ってしまう。皆は、線引きの下を不思議そうに見る。蓋を開けてピ  
ンクの石灰をみる。
- 10 時 53 分 「まりこちゃん。ちょっと、せんせい、いこう。」と、まりこを誘うが、また戻  
る。やがて、皆が線引きの蓋を開けて手を入れて触る。担任が戻り、手を洗いに  
行かせる。
- 10 時 57 分 ブランコに行く。マーリー、ともみに「かわって。」ともみ、「いいよ。」と言  
うと、ブランコに乗るが、ともみとまりこは行ってしまふ。  
セバスチャン「かわって。」

マーリー「いいよ。」交互に4回交代する。5回めにセバスチャンが「かわって。」と言うと、マーリー「ちょっとまって。」

セバスチャン「かわって。」

マーリー「いいよ。」

マーリー「かわって。」

セバスチャン「いいよ。」

10時58分 マーリー「みて、ねえ、ねえ。まーくん、みて、みて、みて。」と隣のブランコにいるまさひろに言う。ブランコの上で体を反らせて言うマーリーを見て、セバスチャン「あぶないよ。あたまがいたくなるよ。」と砂場から日本語で注意する。マーリー、立ってこぐ。マーリー、ブランコから降りて「ねえ、ねえ、ちょっと。ねえ、ストップして。」と言いながら、まさひろのブランコの前を横切る。

10時59分 セバスチャン、英語で何かを話し掛ける。

マーリー「No, I'm doing something.」と言って、丸型ドッチボールの方へ行く。

11時00分 「いーれて。」と仲間にはいる。担任の手を握り、他のクラスの子どもたちとゲームに加わって、鬼の役もできる。

11時14分 砂場のところにいる先生に、すべり台でボールを持っている子どものことを告げる。

11時15分 ドッチボールに戻るが、「せんせい。」と担任を探して部屋へ向かう。

11時16分 りかこ、みつき、るいが部屋の隅にいるのを見つけて、るいに「みつきちゃん、みつきちゃん?」と尋ねる。担任と女の子たちは、風呂敷をかぶり、おばあさん、お姫さん、鬼などになって、遊ぶ。

11時20分 マーリー「せんせい、これとれない?」と話し掛けるが、応答がないので、不平そうに外を見て、また戻る。

11時21分 「ねえ、ねえ。」と、担任に風呂敷を渡し、前掛けのようにしばってもらう。

11時22分 「ねえ、ねえ。」とりかこに言い、カゴを貰う。みつきの所へ行き、「マリも。」とカゴに何かを分けてもらう。

11時25分 女の子たちは、担任とお姫さまなどの遊び。マーリーはあまり楽しそうでない。

11時27分 お片付け。マーリーは「マリも。」と、担任に風呂敷をはずしてもらう。

第20回観察 1995年11月13日(月) 9:50-11:22 晴れて温かい。

9時50分 ショウヘイが紙の棒で頭を叩いてくる。

それを見たマーリーが、「いけないんだよねー。」と言いながら腰を下ろして靴を替える。きみひとひろしが田中のノートをのぞいていると、マーリー「ね、なにしてんの。」

9時51分 部屋に入り、マーリー「もういかったあ?」とこうすけに。こうすけ「なに、もいっかいいるの?」タオルを掛けに行く途中、振り向いて「よっちゃん、なに、いい?」

9時54分 青バス到着。マーリー「ほんとうだ。」と走って行く。柱の側でバスから降りてくる園児たちを見る。ひろし「まーんきたよ。」マーリー「うん。」

- 9時57分 部屋に走っていく。りかこ、母親という。マーリー「りかちゃん、きょうね、...。」  
りかこ、嬉しそうに笑う。マーリー、りかこに抱きつこうとする。
- 9時58分 立って、片足の練習。部屋を走り回る。まさひろの靴下が落ちている。
- 10時00分 セバスチャン「これだれの。」マーリー「しりませんよ。」
- 10時03分 外へ。腰を下ろして靴を履きながら、マーリー「ねね、ちょっとまって。ねね、  
ちょっとまって。」担任のエプロンを持って上げ、渡ししながら、マーリー「いた  
くない?」と担任を叩く。  
マーリー「ねえ、りかちゃん、... と、やだよね。」とりかこの手を取って走ろう  
とするが、
- 10時04分 りかこは逃げる。追っかけて、西の道路工事の方へ行き、2人で「あーあー、  
やっほー。」と交互に大声を出しながら走り回る。「りかちゃん。」と、マーリー  
がりかこ手を差しだす。走って、整列の方へ。
- 10時30分 個々で遊ぶ。マーリー、パネの付いたジャングルジム。振り返って「ふるやせ  
んせい。」応答がないので、ぶら下がり遊具の方へ。マーリー「ねえ、ねえ、ま  
りこちゃん、ちょっとみて。」途中でまりことすれちがう。ぶら下がりながら、  
マーリー「せんせい、ふるやせんせい。ちょっとみて。」「ちょっと、きてみて。」  
マーリー、反転したり、ぶら下がって「みて。」を連発するが、担任は他の子ど  
もたちに気をとられていて、気がつかない。  
マーリー、ジャングルジムに。マーリー、まりこに「いれて。まりこちゃん。み  
て。」どんどん登る。
- 10時33分 マーリー、ジャングルジムから降りて、「せんせい、ちょっときて。」と先に  
走って、隅の木のほうへ。担任「これ、のぼるの?」マーリー「ちがうよ。」  
校庭の入口の細い鉄の棒を歩く。マーリー「せんせい、みて。」と担任の手を引っ  
張る。
- 10時37分 ミニハウスの中で、ままごと遊び。まさひろ、みづき、ちづる。小さいコテで  
砂をすくって、持ってくる。ちづるが砂の入ったバケツにジョロで水を入れる。  
マーリー「もう、いい。もう、いい。もう、いい。」ちづるがマーリーに不服そ  
うな顔をする。ちづる「ねえ、ちーちゃん、おかあさんだからね。」(主導権の取  
り合い?)  
マーリー「いいよ。じゃ、マーリーは。」ちづる「ねえ、マーちゃん。」マーリー  
「ちょっと、かして。」とジョロを取る。ちづる「いいよ。」
- 10時38分 マーリー、水を飲み、手を洗ってくる。袖口が濡れるのを気にする。  
りかこが屋根にもたれて、声をかける。マーリー「どうしたの。」  
砂を取ってくる。マーリー「だめ。」とバケツをまさひろから、取り上げる。
- 10時41分 ちづる「ふたり、おかあさん。」マーリー「いいよ。」  
砂をスコップで取りながら、マーリーがちづるに「ふたり、おかあさんね。」  
マーリー「バブー、バブーちゃんだって。」と外を見る。バケツをまさひろと2  
人でかき混ぜる。まさひろ「おさとういれたよ。」ちづるの不満そうに行ってしまう。
- 10時45分 担任「おかあさん、おねえさん。ごはんできた?」



- マーリー「できてないよ。」マーリーは、まさひろとコップにバケツからついでいる。みさと「いーれて。」マーリー「だめよ。」  
コップを落としたまさひろに、マーリー「だめ!だめ!だめ!だめよ。」  
ちづるが仲間に入ろうとすると、マーリー「だめ。」  
担任が、また戻ってくる。担任「ごはんできましたか。」
- 10時48分 マーリー「まだ、できてない。」盛んにコップにバケツから泥を入れる。  
担任「ごはん、できた?」  
マーリー「できた!」担任と7人が小屋の中に入り、遊ぶ。るいはカゴに木の葉の手紙を配達する。
- 10時49分 マーリー「だって、もうおしまい。」と言いながら、外へ走る。担任の後を追って、ブランコに行く。
- 10時50分 転がり落ちる。セバスチャンが隣のブランコで、落ちる真似をする。  
マーリー「だいじょうぶ?」
- 10時52分 セバスチャン「だれか、おしてくれ。」  
こうすけ「ぼくおしてやる。」セバスチャンを上手におす。  
マーリー「ねえ、こうすけ、マリやって。できないんだもん。」  
セバスチャン、こうすけに「ちょっと、マリやってくれない。」と言うが、こうすけ、しぶる。すると、セバスチャンが降りて、マーリーのブランコをおしてあげる。マーリー「もっとやって。」
- 10時54分 上手にこいでいるマーリーを指して、セバスチャン「せんせい、みて、マーガレット。」と、おしてやる。  
マーリー、立ってこぐ。ブランコから降りて、マーリー「ねえ、ねえ。ちょっと、ねえ、ストップして。」とセバスチャンに言う。
- 10時55分 るい、ブランコのマーリーに木の葉の手紙をもってくる。るい「おてがみです。」  
マーリー「ねえ、ねえ。」とブランコを降りて、葉をセバスチャンに渡そうとするが、セバスチャン「いらん。」  
マーリー、またブランコに戻り、座ったり、立ったりして校庭を見ている。  
「ケイティ、ケイティ」とキャティ(4歳児クラス)を呼ぶ。キャティは上手に立ってこぐ。
- 10時58分 マーリー「せんせい、ちょっときて。」応答がないので、つまらなそうにする。  
担任と皆が、とおoryんせをしているのを見て、マーリー「いーれて。」となかまにはいる。(鬼になりたいので) マーリー「マリ、やりたい。やりたい。やりたい。」順番に遊ぶ。
- 11時02分 今度は『かごめ かごめ』。鬼になったり、他のクラスの子どもたちも加わり、輪がドンドン大きくなる。(10人くらい)しばらくして、つまらなくなったのか、輪から離れて、鉄棒へ。セバスチャンといっぺいがボール遊びしているのを、ぶら下がって見ている。

第 21 回観察 1997 年 11 月 20 日 (月) 9:50-11:22 雨が降っている。

9 時 52 分 部屋に入り、担任に「なに、これ。なに、これ。」

9 時 53 分 りかこ、机で絵を描いている。マーリー、りかこに「これ、リカちゃん？」  
りかこ「セーラームーン。」

9 時 55 分 マーリー「だって、マリ。これ、セーラームーンない。」

なつみが、外から「へんな、おばさん。」と大きな声で言う。マーリー、なつみを追っかける。また、部屋に入り、机の上の新聞紙を取って、破って歩く。セロテープを取って、丸めた新聞紙に巻きつける。

9 時 57 分 りかこにピンクの髪のリボンを見せる。りかこ、マーリーの肩に手を置き、リボンに触れる。

9 時 57 分 スイン、「いれて。」と近づいてくる。マーリー「はい。」

他のクラスの外国人の子どもが入ってくると、マーリー、彼らに近づいて話しかける。

9 時 58 分 マーリー何か指に乗せ、りかこに渡す。

マーリーは外に行き、廊下でなつみと手を繋いで、隣のクラスを覗く。  
メイが「なにー?」と顔を出す。また、外から教室を覗いて、立っている。

10 時 00 分 「おかたづけですよ。へやにはいってください。ダメです。」とメイが、言うてくる。

10 時 01 分 マーリー「アー」と言って、自分の教室へ。

10 時 03 分 上靴をはく。まさひろたちと、ダンボールで遊ぶ。なつみ、まりこ、こうすけも加わる。

10 時 04 分 ともみ、まりこが 2 人で遊んでいると、マーリーが中に入り、邪魔をする。まりこの長い髪に触れる。まりこもマーリーのリボンに手に触れる。

10 時 09 分 2 列に腰を下ろして並ぶ。まりこが振り向き、マーリーと両手で遊ぶ (『いっせっせ』のように)。

10 時 14 分 立って 2 階へ。

10 時 38 分 スインと手を繋いで降り始めるが、途中でバラバラになってしまう。マーリー 2 階から「ちょっとまって。」と大声で呼ぶ。スイン待ってくれ、2 人で部屋へ。

10 時 42 分 マーリー、後ろを向いて、スインとめぐみと小声で話す。

10 時 43 分 おいもを作る説明。スインから離れてりかこを誘う。めぐみ、りかこ、スインと手を繋いで隅のままごとコーナーに行く。りかこ、かごのなかに座る。

10 時 45 分 マーリー、りかこの頭に触れ、「やりたいんだって。」とスインに言う。

10 時 46 分 何かマーリーが言うと、スインはびっくりして倒れる振りをする。マーリー、内緒話をりかことする。なつみ、るいも加わる。

10 時 47 分 マーリー、一生懸命でテーブルでコップに何かを入れる。りかこに「バブちゃん。」と赤ん坊のように話し掛ける。

10 時 49 分 セバスチャン「すみません。いっこ...。」マーリー「いいです。」とコップを渡し、セバスチャンは飲むかっこうをして離れる。

- 10時50分 セバスチャン「すみません。ちょっと、かしてください...。」  
マーリー、両手を合わせ、頭を下げて「いいですとも。」とうれしそうに言う。  
セバスチャン「いれて。」  
マーリー「いいよ。」
- 10時52分 マーリー、コップを盛んにならべる。「どうしたの? まーくん。」と何かいうが、まみちは後を向いて、無言。  
マーリー「バブちゃん、まーくん...。」と頭を振って、(りかこのことを)「バブちゃん。きょうはバブちゃん。」とめぐみに伝える。
- 10時56分 担任と10人で1グループ、マーリーとりかこなど5人。そこへゆうた、ショウヘイ、まさひろ、セバスチャンは、ときどきチョロチョロと加わる。  
マーリー、常に皆の行動に注意しながら、コップに粘土をちぎっては入れる。
- 10時58分 まさひろが寄って来る。「ちょっとまってください。」とマーリーが言う。  
まさひろ、荷物を入れるロッカーに身体をいれる。マーリー「できる?」  
マーリー、もう一度「ちょっと、まってください。」
- 11時00分 なつみがめぐみの何かを取っていくと、マーリーが近寄り「いかんだよ。」と言って、また、テーブルに戻り、コップに粘土をいれる。「そうよ。」
- 11時01分 「バブちゃん。バブちゃん。」と呼んで、りかこを探す。  
スインと2人で立って、準備をする。
- 11時03分 りかこに内緒話をしに行く。また、戻って、コップに粘土を入れる。
- 11時06分 りかこの手を引いて、2人でテーブルに立つ。スインが来て「りかちゃん。」と牛乳の箱を取っていく。
- 11時07分 セバスチャンが大声で「ビー、ビー。」マーリー「うるさい。うるさい。うるさい。」と繰り返す。
- 11時07分 隣のクラスのメイがやってきて「なにしてるの。」マーリー、何か説明して「いいよ。」と、仲間に入れる。メイ、マーリー、りかこの3人でままごとを始める。  
メイ、粘土を細長くし、包丁で切る。マーリー、りかこがくると、スインを仲間外れにする。
- 11時12分 なつみ、マーリー、メイ。メイがお盆のコップを運ぼうとすると、マーリーが止める。マーリー"*That's my knife.*"と言うと、メイがナイフをマーリーに黙って渡す。日本語、英語でやりとるするが、よく聞こえない。
- 11時15分 りかこが来ると、マーリー「いいですけど。いいよ。」と仲間に入れる。
- 11時17分 マーリー「りかちゃん。」とりかこを呼ぶ。
- 11時18分 担任「そろそろ、おかたづけしてください。」  
マーリー「いやだ、いやだ。」マーリー、女の子たちとままごとをつづける。

第22回観察 1997年11月27日(月) 9:50-11:22 晴天、少し寒い。雨あがり。

9時50分 マーリー、立って、靴を出しながら「きょう、あついねー。」

担任に、「ねえ、ねえ、シールはってないよ。」とビニール袋を渡す。

9時51分 「これ、マーリーの。」とまりこに見せる。腰をおろして上靴をはこうとする。

- 9 時 52 分 柵から「ねえ、ねえ、はやく。ふるやせんせい、チョットきて。」と呼んで、階段を上がってきた担任に「ねえ、ねえ。シールはってないよ。」靴をはき、中へ入る。  
部屋では、テープ『狼さん、今なんじ。』が流してある。  
「5 じよ。」「7 じよ。」「9 じよ。」「よなかの 12 じよ。」子どもたちは「ワー。」と逃げ回る。マーリー、まだ、この歌が分からないようだ。
- 9 時 53 分 部屋に入り、4 人（みずき、なつみ、みさと、りかこ）のテーブルの回りに近づく。  
マーリー「ねえ、マリはね、あかちゃん...。」ビニール袋を出す。
- 9 時 54 分 テープを聞いて、走り回る。
- 9 時 55 分 みさととみずきが「ジャンケン、ポ。」テーブルのこちらで、りかこがマーリーにジャンケンを誘う。マーリー、まだカバンやコートを持ったまま。  
最初はパー、2 回目りかこはパー、マーリーは指 3 本出す。りかこ分からない。  
なつみがりかこに向かって「さいしょはグー、ジャンケンポン。」マーリーは見ている。
- 9 時 56 分 りかこに「まけた。」と言う。なつみがマーリーの手を繋ぎにくるが、マーリーは荷物をもったまま立っている。りかこ、みさと、なつみ、みずきの 4 人が手をつないで、マーリーを待っている。  
マーリー「ちょっとまって。」と荷物を置いてくる。  
テープの音楽に合わせて女の子たちは、遊んでいる。
- 10 時 00 分 外でみんながフラフープをしている。マーリーは階段の上で見ている。  
「まーくん、なにしてるの。なにしてるの。」と担任に叫ぶ。階段に腰を下ろして校庭を見ている。
- 10 時 02 分 靴を替えて仲間に入る。「マリもやりたーい。」と担任に。
- 10 時 03 分 なつみがフラフープをマーリーに渡す。遊び方が分からないので、なつみに返して、列に加わる。
- 10 時 04 分 マーリー、黄色のフラフープを渡され、少し回すが、すぐ返す。
- 10 時 05 分 まさひろが大きな、紫のフラフープを持ってきて、マーリーと 2 人で中に入り、歩く。
- 10 時 06 分 フラフープの片付け。マーリー、校庭を歩き回る。鉄棒でぶら下がっている子どもを見る。  
担任を見つけて走り、後についていく。
- 10 時 08 分 青バス到着。セバスチャン、新しい水筒を見せる。  
マーリー「だって、マリ、おうちだもん。」と言いながら、セバスチャンの後を歩く。
- 10 時 09 分 部屋へ入る。腰を下ろして上靴をはく。
- 10 時 10 分 セバスチャンとタオルを一緒にかけながら、マーリー「いっしょだからね。いっしょだからね。いっしょだからね。」と 3 回言う。
- 10 時 40 分 フラフープの説明を階段に腰掛けて聞く。ショウヘイ、みさと、マーリー、セ

バスチャンと最前列に座る。

10時46分 遊びにはいるが、フラフープがなく、めぐみと手をつないで歩く。ブランコの方へ行く。

担任に言いに行く。「マーリー、やりたいもん。」

担任に「おともだちにかわってといてごらん。」と言われ、階段に並んで順番を待つ。1から10まで数える。

10時48分 フラフープを、まさひろに渡してもらう。セバスチャンが「こうたいするんだぞ。」とマーリーに言ってくる。マーリー、フラフープを持っても、どうして遊ぶか分からない。

10時50分 小さいフラフープを持って「みて。」と担任に頭から落として見せる。

10時51分 りかことフラフープを交換する(2回)。座って10数えて、セバスチャンに渡そうとするが、セバスチャンは大きなほうを選ぶ。マーリーは立って、フラフープを持っている。水を飲みに行く。

10時54分 「かして。」と言うが、スインとみずきが替わってくれない。

10時55分 鉄のボールをクルグル回り、りかこの方に行き、「チョットかして。」とフラフープを渡してもらう。ぶら下がり遊具に行き、りかこに「あかちゃんね。」と言うと、

りかこ「やだ。」

マーリー「じゃ、セーラームーンしようか。」

りかこ「やだ。」

10時56分 ジングルジムに行き、マーリー「じゃ、あそぼう。」とりかこを誘う。

りかこ「わたしが、いちばんうえにいく。」と登り始める。

りかこ「ヤッホー。」

マーリー「チョット、いれて。」

りかこ「いいよ。」と言って頂上に登る。

10時58分 りかことマーリー「ヤッホー、セバスチャン。ヤッホー。」

なつみが登ってくる。

マーリー「みて、なっちゃん。」とぶら下がって言う。

10時59分 マーリー「こわいもんね。こわいよ。こわいよ。」

11時00分 なつみと手を繋いでブランコの方へ。2人で乗ろうとするが、なかなかブランコが動かない。

なつみが黄色いリボンをブランコに結ぶ。

マーリー「りかちゃん、きて。りかちゃん、あぶないよ。」

隣のブランコで、スインとみずきが上手に2人乗りをする。

11時02分 「ねえ、ねえ。マーリー、みてて。」とりかこ。

マーリー「いいよ、なにしてるの。」とブランコに乗りながら答える。りかこに「あぶないよ。」

11時03分 りかこ、マーリーを見るが、行ってしまう。マーリーは一人でブランコに乗っている。

- 11 時 04 分 立ってこぐ。スインたちに「ちがうよ。」
- 11 時 05 分 座ってこぐ。突然、セバスチャンが、りかこたちを見つけて走って行く。
- 11 時 06 分 りかこが木の葉をとると、マーリー「いけないんだ。いけないんだ。」と言う。  
りかこは、庭の小さい家の中に向かって「ゆうびんです。ゆうびんです。」と葉を渡す。
- 11 時 06 分 担任がちいチャンと家の中に入ると、マーリーも担任の膝にのる。ちいチャン（足にハンディキャップにある女兒）の相手をしている担任を叩いて、マーリーはブランコの方へ走り去る。
- 11 時 08 分 まさひろとこうすけがブランコに乗っているのを見て、マーリー「いけないんだ。」と言う。
- 11 時 11 分 靴箱の前でセバスチャンに「マリも、しってるよ。」  
りかこと隣の部屋をのぞき、走って玄関の方へ行く。  
「ちがう。」りかこと話す。「あまぐじゃないよ。じゃ、あそばないよ。」  
りかこ「... じゃない。」  
マーリー「もう、しらないよ。じゃ、バカよ。」
- 11 時 15 分 りかこと 2 人でトイの白い塗料を爪ではぎながら、けんかをする。「もう、しらないもん。」それでも、ふたり離れない。2 階への避難すべりだいのところで、マーリー「そこ、いけないんだよ。せんせいにいっちゃうから。いけないんだ。じゃ、りかちゃん...。」と口げんかをする。  
(この日は、一番仲の良いりかことけんかをした。)

---

注) 幼児の名前は、すべて仮称で、カタカナで表記した幼児は、外国人または国際家族の幼児であることを示す。資料中人名ゴシック体は、マーリーの相手、会話のゴシック体はマーリー自身の会話を示す。

\*             \*             \*             \*             \*

分析は、主対象児マーリーの発話内容と、他の園児たちとの社会的な行動・インターアクションを中心に分析した。クラス担任等との会話・行動も、日本語獲得や言語発達の状況を分析するのに重要な手がかりを提供するので、副次的な分析の対象とした。

夏休みを含む約 2 か月間の一時帰国、再登園 1 週間後（1995 年 9 月 18 日）の第 13 回観察（入園約 5 か月半後）から、本論文の行動観察分析が始まる。再登園から 1 週間経ていることもあり、行動上・言語上の特徴はその約 2 か月前の状態の延長線上にあり、一時帰国による後退を示す行動所見は全く認められない。マーリーの会話は、入園前からの友人国際家族のセバスチャンや他の英語を話す外国人・国際家族の幼児、時には第 1 筆者と、ごく断片的な英語が出現する程度で、大半が日本語会話で占められていることが、明確である。先の研究報告（田中・宮川、1997）で行った最初の約 3 か月間の行動観察データベースと比較すれば、この点は一層明白といえる。セバスチャンとの会話でも、日本語によるものが目立っ

てきている。また、特に気のあったクラスメイト、りかこ等日本人幼児とのやりとりも、持続性の非常に高い社会的インタラクションや複雑な言語的コミュニケーションが成立しているのも、入園約7か月後の第18回観察(1995年10月30日)頃には、目立った特徴となっているといえる。

マーリーの夏休みを含んだ約2か月の一時帰国後の約3か月間の変化は、時にバイリンガルの言語発達特徴を片鱗のように見せるものの、やはり日本語使用頻度の急激な増加により少なくとも幼稚園状況では日本語が優勢となり、日本人幼児たちとのかなり複雑で持続的な社会的インタラクションの展開が顕著に認められ始めたというのが、この時期の特徴といえることができる。

本論文で試みた約3か月間の行動観察データベース形成は、この間に見られた対象児のダイナミックな言語的・行動的变化を、生きたデータとしてみるのに有効なものといえる。ただし、誌面の関係上、本研究プロジェクトの残りの部分の行動観察のデータベース形成、およびこれらのデータベースに関する別の分析手法の試みは、次回報告以降とする。

## 引用文献

- 宮川充司 1996 外国人乳幼児の異文化適応に関する事例的研究(Ⅰ):中国人女児の事例 梶山女学園大学研究論集, 27(人文科学篇), 125-141.
- 宮川充司・中西由里 1994 日系ブラジル人幼児の異文化適応に関する事例的研究(Ⅰ):梶山女学園大学研究論集, 25(人文科学篇), 47-74.
- 宮川充司・中西由里 1995 日系ブラジル人幼児の異文化適応に関する事例的研究(Ⅲ):梶山女学園大学研究論集, 26(人文科学篇), 1-19.
- 中西由里・宮川充司 1994 日系ブラジル人幼児の異文化適応に関する事例的研究(Ⅱ):入園当初3か月間の分析から・2児の比較 梶山女学園大学研究論集, 25(人文科学篇), 75-84.
- 田中幸子・宮川充司 1997 アメリカ人幼児の第2言語としての日本語獲得に関する学際的・事例的研究(Ⅰ) 梶山女学園大学研究論集, 28(人文科学篇), 109-123.